日本貨物鉄道労働組合　中央本部組織部　http://www.jrfu.net/

組織部速報

2023年11月29日
Ｎｏ．３１

菅野副青年部長の新聞投稿が掲載される！

１１月９日付の西日本新聞の投稿欄「オピニオン」に、本部青年部 菅野拓哉副青年部長の投稿が掲載されました。

利益と公共性
鉄道は両立を

西日本新聞　2023年(令和5年)11月9日　木曜日　オピニオン　20

オピニオン　Opinion

島の良さ知る壱岐マラソン

松永　和子＝55

壱岐ウルトラマラソンで50キロを初めて走った。スタート前、東京から来たという女性と話が弾んだ。「宿の近くを歩いていると、お年寄りや子どもたちがあいさつしてくれて、なんて素朴ですてきな島なんでしょう」と話された。こんな普通のことが感動の要因になるのかと驚いた。

しかし、いざレースを走ってみると、島の良さに改めて気付いた。坂を駆け降りた先に見える水平線と、白波の立つ海岸の美しさ。途切れぬ島民の声援。とりわけ、給水所で部活動並みのエールと名前の連呼で応援してくれた中学生。何時間も声を張り上げていたのだろうと思うと、足を進める勇気をもらった。

完走もさることながら、多くのボランティアの誠実な対応に感動した。またひとつ、地元に誇れるものができた一日だった。

（長崎県壱岐市・会社員）

利益と公共性 鉄道は両立を

菅野　拓哉＝28

先日、見つけたネットニュース。JR西日本の山陰線では減便が繰り返され、利便性が低下している。そうした中、生徒の半数以上が通学で山陰線を利用している京都府のある中学校では、部活動を15分短縮せざるを得ない事態に発展しているという。

鉄道事業の運営について規定した鉄道事業法の第1条「この法律は（中略）鉄道等の利用者の利益を保護するとともに、鉄道事業等の健全な発達を図り、もって公共の福祉を増進することを目的とする」。鉄道会社はこの法律にのっとって鉄道事業を運営することで、公共性を持つことが定められている。

民営化したJRが企業として利益追求を第一に考えることはある程度仕方のないことだと思う。しかし、公共交通機関として、公共性を害してしまうのはいかがなものだろうか。貴重な青春の15分を、企業の論理でつぶしてはならない。

JR九州でも、減便や減車、有人窓口の閉鎖、駅の無人化が進み、その傾向がみられる。利益追求と公共性の維持を両立させる企業努力を望む。

（北九州市門司区・会社員）

インフル流行 マスク着用を

森　真理子＝69

「インフルエンザが流行しています」と聞いてもさほど慌てないのは、新型コロナ疲れからでしょうか。コロナワクチン接種には抵抗があるのに、インフルエンザワクチンはすんなり受け入れられるのは、長年の実績への信頼があるからで

２０２３年１１月９日
西日本新聞から転載

新聞投稿に挑戦してみよう！